

令和元年度の業務実績の概要について

(公立大学法人青森県立保健大学)

令和元年度においては、「年度計画を上回って実施している」S評価又は「年度計画を十分に実施している」A評価が117項目(95.9%)であり、全体的な状況としては順調に計画を実施することができたと自己評価している。

大項目	小項目の自己評価結果		「S」と判断した業務実績の内容
1 教育研究等の質の向上に関する目標を達成するための計画(教育)	S	7	<ul style="list-style-type: none"> ・「No.6 専門教育の推進 ①看護学科」 ①看護師・保健師・助産師の人材育成<21ページ> 国家試験合格率高く保持され、就職率も100%であり計画が十分に進捗できたと評価した。 ②移行教育の実施と評価<21ページ> 指標をもとに移行教育の実施と成果が検討されて教学マネジメントが有効に働いていること、学生に十分な力が身につけていることが確認できたことから、目標以上の達成と評価した。 ・「No.7 専門教育の推進 ②理学療法学科」 ①理学療法士の人材育成<23ページ> 国家試験合格率、就職率ともに100%であり、教育内容の検証も進んでいることから、計画以上の進捗であると評価した。 ・「No.8 専門教育の推進 ③社会福祉学科」 ①社会福祉士・精神保健福祉士の人材育成<24ページ> 国家試験合格率高く、就職率が100%であり、計画以上の進捗であると評価した。 ・「No.9 専門教育の推進 ④栄養学科」 ①管理栄養士の人材育成<26ページ> 国家試験合格率高く、就職率が100%であり、計画以上の進捗であると評価した。 ・「No.11 大学院生の研究推進(博士後期課程)」 ③研究成果の地域社会への還元<30ページ> 後期課程だけでも、研究成果の還元件数が7件と目標を大幅に超えることができたので、自己評価をSとした。 ・「No.23 学生へのキャリア支援の充実」 ①国家試験対策<47ページ> 7つの国家試験種別において、いずれの試験種別も全国平均を上回り、特に保健師・助産師・理学療法士国家試験は100%合格、社会福祉士及び精神保健福祉士においては、連続して大幅に全国平均を上回ったことから、自己評価をSとした。
	A	58	
	B	2	
	計	67	
	計	67	
2 教育研究等の質の向上に関する目標を達成するための計画(研究)	S	0	
	A	8	
	B	0	
	計	8	
3 教育研究等の質の向上に関する目標を達成するための計画(地域貢献)	S	2	<ul style="list-style-type: none"> ・「No.29 教育・研究資源の地域社会への提供」 ①学生参画型の地域活動の推進<57ページ> 学生の主体的な活動を支援する基盤が充実し、学生の顕著な活動成果が得られたことから、自己評価をSとした。 ・「No.34 県内就職率の向上」 ②女子学生の県内就職・定着に向けた教育 プログラムの実施・評価<64ページ> COC+、及び県との連携により、女子学生のキャリア支援のための実践と質の高い教材作成ができたこと、多様性のある職場づくりについては目標に掲げていた以上の範囲の広がりを得、たいへん高い評価を得たこと、採用力向上セミナーの事後評価から有効な研修であったことが確認できたことから、計画以上の進捗であると評価した。
	A	9	
	B	0	
	計	11	
4 業務運営の改善及び効率化に関する目標を達成するための計画	S	0	
	A	9	
	B	2	
	計	11	
5 財務内容の改善に関する目標を達成するための計画	S	0	
	A	11	
	B	0	
	計	11	
6 教育及び研究並びに組織及び運営の状況について自ら行う点検及び評価並びに当該状況に係る情報の提供に関する目標を達成するための計画	S	0	
	A	6	
	B	0	
	計	6	
7 その他業務運営に関する重要目標を達成するための計画	S	0	
	A	7	
	B	1	
	計	8	